

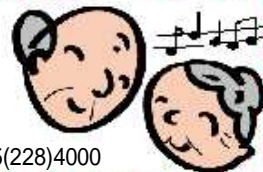
月刊



はあむふるあたご

第37号(2008年9月)

【発行】平成20年9月1日



【発行元】株式会社はあとふるあたご

【発行者】木村 淳

〒951-8051 新潟市中央区新島町通三ノ町2284番地

電話 025(228)5000(代) FAX025(228)4000



介護予防スペシャルユニット“はあもにい”
「夏ライブ」(関連記事は3ページ、12ページ)

目次

第3回 食の第三者評価 2	ハーブ園を造ります 第9回 . . . 8
事業所だより 3	伊東先生のコラム 第36回 . . 11
自分で食べるを応援します! 第3回 . 5	はあもにいライブレポート . . . 12

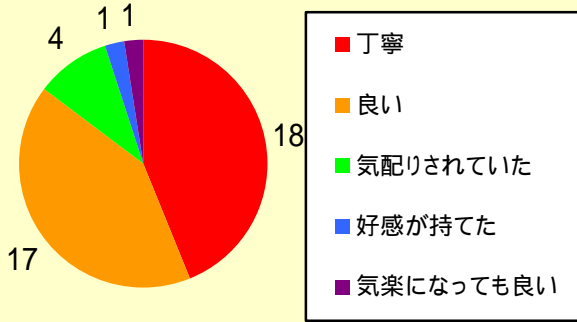
第3回 食の第三者評価集計結果

食の第三者評価とは・・・

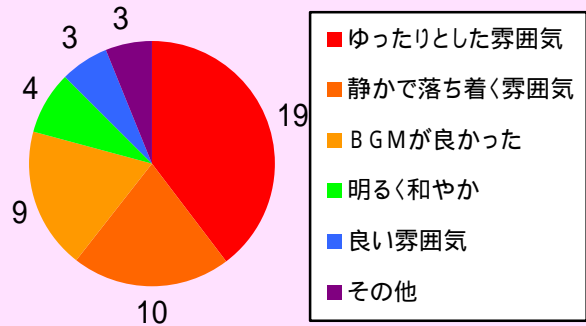
当社では、平成19年6月より半年に1度、食の第三者評価を実施しております。普段ご利用頂いているお客様以外の“第三者による客観的評価”を受けて現状を把握し課題解決につなげる事でよりご満足頂けるお食事の提供を実現することが目的です。

6月23日～27日に第3回食の第三者評価が行われました。今回は、総勢42名の方に私たちが日頃提供している食事を召し上がっていただきました。お客様のご家族、ケアマネージャー様、ボランティア様、銀行の方、お巡りさんと様々な方々に評価していただきました。お忙しい中、参加していただき大変ありがとうございました。

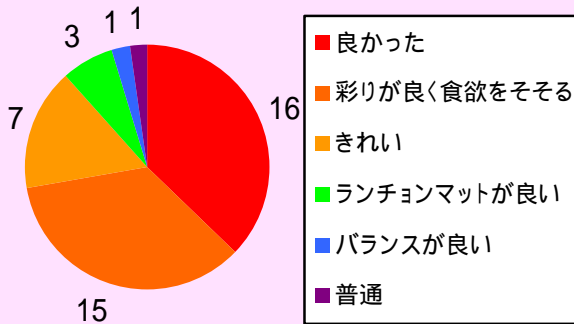
1、職員の対応はいかがでしたか？ (挨拶、言葉遣い、提供マナー等)



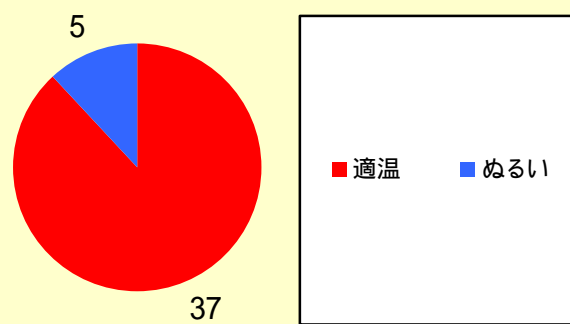
2、食事の雰囲気はどうでしたか？



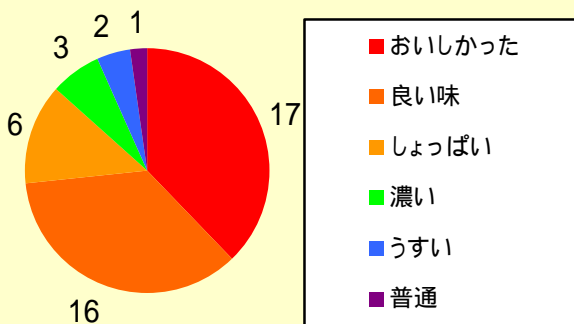
3、盛り付けはいかがでしたか？(彩り等)



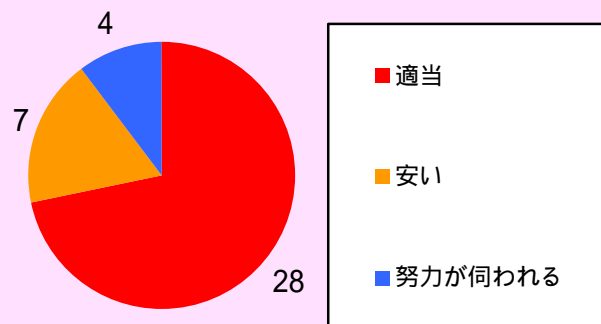
4、食事の提供温度はいかがでしたか？



5、食事のお味はいかがでしたか？



6、現在お食事代は1食あたり560円とさせて頂いております。食事をされてみての金額に関するご意見をお聞かせ下さい。



7、その他、ご意見がありましたらお聞かせ下さい。(代表的なご意見)

- ・とても良い機会になった
- ・量が多すぎ
- ・エプロン、制服がおしゃれで外食気分を味わえた
- ・参加して良かった
- ・食器が良かった
- ・大変やわらかく歯の弱い方でもよいと思う
- ・選択食は良いと思う
- ・季節の果物があれば良い
- ・はし置きがあると良かった
- ・また開催してほしい

回答については複数回答あります。

これからも、より良いお食事を提供できるよう努力していききたいと思います。

食彩委員長

山田 智美

デイサービスセンター坂井東

新潟一望！



7月13日(日)坂井東では、晴れ渡った午後
のひと時、15名のお客様と一緒に朱鷺メッセに
行ってきました。日曜日だったせいか、道路も
駐車場もエレベーターも混んでいましたが、久
しぶりの外出に皆さんウキウキ・・・ 地上1
25mの展望室、目の前に広がる大パノラマに
感激！弥彦・角田の山々、雄大な信濃川、「見
晴らしがいいね～」「家はどっちの方かな？」

「マンションがたくさんあるね」などと景色に見とれていました。

新潟の町並みを、こんなにも高いところから見るのは初めてなので、とてもよい思い出になりました。「また季節の違うときに来たいね」と、皆さんからリクエストもありました。

みなさん！次回までもう少しお待ちくださいね。また行きましょうね。新潟バンザイ！！

デイサービスセンター坂井東

斉藤 圭子

電話 025-268-8880 FAX 025-268-8887

グループホーム三条

はあもにい グループホーム三条公演

今日は、介護予防スペシャルユニット「はあもにい」の訪問公演
です。スタッフに案内されて集まりだされたお客様方は、太鼓やキ
ーボードの音に目を丸くされながらも、その期待度は皆様の表情を
拝見すれば、手に取るようにわかります。



演奏が始まってすぐ、一緒に歌われる方や、泣き出
される方など、様々な感情が会場を包み、音楽のも
たらす一体感と、それにあわせて体を動かさず気持ち
よさは、格別のものがありますね。

「また来てもらいたいね！！」お客様とスタッフ
は心から願っております。

グループホーム三条

難波 淳

電話 0256-36-5555 FAX 0256-36-5556

デイサービスセンター松浜

爽やかな夏空に誘われて、お客様と松浜の“市”へ行って参りました。



松浜の“市”といえば歴史は古く、明治9年(1876年)から行われているそうです。阿賀野川の浅州を埋め立てたこの地は新屋敷(現在では松浜本町4丁目)と名付けられ、二と七のつく日に約100店が店を連ね、今日に至っても多くのお客様に愛される“市”であります。

そんな“市”にデイサービスセンター松浜のお客様もよく足を運んでおられた話を耳に致します。中には「どれどれ行

ってみようか」と、十年ぶりに足を運ばれたお客様もいらっしやり、ナスにトマト、肌着や衣料品等、抱えきれないほどお買い求めをされて満足げなお顔を拝見できました。一人のお客様が「十年ぶりにナス漬けを漬けてみたわね!」

と、後日嬉しそうにお話を聞かせて下さいました。デイサービスセンター松浜ではそんなお客様の生活の背景と松浜の歴史にふれて、職員一同今後もお客様に寄り添っていけたらと思っております。



デイサービスセンター松浜

古俣 亜沙子

電話 025-255-7701 FAX 025-255-7705

居宅介護支援課

「忘れる病」

認知症といっても様々です。判断力や注意力が低下したり、人の名前や場所などを忘れてしまったり、言葉を忘れて、予定を忘れて・・・。

認知症のもの忘れは、体験全体を忘れるので、思い出すことが困難です。記憶が「抜け落ちていく」とも言います。しかし、毎日聞いていた歌や、思い出の曲などを聴くと、歌詞を口ずさんだり、涙を流して聴いている姿を見ることがあります・・・。

歌だけには限らず、物や場所の場合もあります。普段の生活では忘れてしまうことが多い認知症でも忘れずに、忘れられずに、覚えていることがあるのです。

その人にとっての思い出の何かが、心の中に残っているに違いないと思います。

忘れる病にも忘れることのできない、認知症にも消すことのできないものがあるのだと・・・。



ムギワラギク

花言葉・・・永遠に覚えていたい、いつも覚えていたい

デイサービスなどでは、歌を歌ったり、踊りを見る機会を作っています。こうしたサービスを利用することで、心の中にある何かに呼びかけ、刺激できる機会を作れたらいいな～と思います。忘れてしまっていない何かを、共に見つけられたら嬉しいです。

居宅介護支援センター 河渡本町

南 洋子

電話 025-250-3002 FAX 025-250-3011

自分で食べるを応援します！第3回

「形状記憶ポリマースプーン」

株式会社コラボ 代表取締役社長

秋元 幸平



コラボの製品の中で一番特長のあるスプーンは三菱重工業と共同開発の「形状記憶ポリマースプーン」です。

天下の三菱重工と新潟の中小企業のコラボがどうして共同開発が出来たのでしょうか？答えはいくつかあります。

新潟県（財）信濃川テクノポリスが新材料の情報を提供してくれたことが一つ。もとは草刈機のエンジンの部品として開発した材料を福祉用品に使おうとした突飛なアイデアに三菱が感心したこと。そして三菱の担当者のお名前が佐治（さじ）さ

んであったこと。そんな理由で様々な手や腕の症状に対応して、自立してスプーンを持つことが出来る世界でただ一つの「形状記憶ポリマースプーン」が開発されました。70度以上のお湯に3～5分つけるとゴムのようにグリップが柔らかくなり、一番持ちやすい形が決まったら20度以下の冷水に3～5分つけると固まります。繰り返し変形が何度でも出来る優れものです。

福祉用具課

握力が弱いなどの理由でスプーン等が握れないのでお食事の介助が必要な方は多くいらっしゃいます。しかし、握力は弱くとも腕や手首が動く方はその『握る』という動作を道具で補えればご自分で食事することが可能になります。できない事、不自由な事を補う道具の「自助具」。

今回はそんな「自助具」の中から『**ウィルスプーンシリーズ**（株式会社コラボ）』をご紹介します。



【ウィルスプーンの特徴】

グリップ部分が特殊素材になっていて、熱湯に3～5分つけると自由自在に形を変える事ができます。

冷やすとその形に固まりますので、その方それぞれの使いやすい形にして、ご使用いただくことが出来ます。

こういった道具を利用し、ご自分で食事をする楽しさを感じていただければと思います。

福祉用具課 阿部 友紀

福祉用具レンタル・販売/住宅改修のお問い合わせは…

福祉用具センター柳都大橋 025-228-5002

福祉用具センター新発田 0254-23-1173

デイサービスセンター横越

毎週金曜日の午後、『音楽』を通してお客様に楽しんでいただいています。主にお客様がお若い頃流行した曲を歌っていただいています。とても懐かしいと、当時のお話をしてくださいます。他に、「かえるのうた」や「静かな湖畔」を輪唱したり、「イントロ当て！」と称し、職員が尺八で吹く曲を当てていただいています。



最近では季節柄、お祭りに歌われる民謡を多く歌っていますが、歌に合わせてたる太鼓をたたいてくださり、今、横越はお祭りムードで楽しんでいます！

デイサービスセンター横越

大久保 友恵

電話 025 - 383 - 2235 FAX 025 - 383 - 2236

グループホーム五泉

梅雨も開け 8 月に入り、グループホーム五泉の玄関には梅干しが天日干ししてあります。

五泉では毎年お客様と一緒に梅干し作りをしています。今年もホームの駐車場にある梅の木に沢山の梅の実がなり、大家さんのご好意でその梅を頂き、6 月半ばから梅干し作りを始めました。



「もう、そうげ時期だねえ～」「昔は、よっぱらしたもんだ」「いっぺこと漬けねばねんだよねえ～」と、皆様昔を懐かしみながら話され、熱心にしそ揉みされていました。

果たして今年の梅干しの出来は??

食卓に上がる日が楽しみです。

グループホーム五泉

若月 陽子

電話 0250 - 41 - 1610 FAX 0250 - 41 - 1611

訪問介護ステーション

皆さんもエコに参加しませんか？

レジ袋持参でポイントやスタンプが貰え、お得な得点（割引や、商品券との交換等）がいっぱいということをご存知でしょうか？

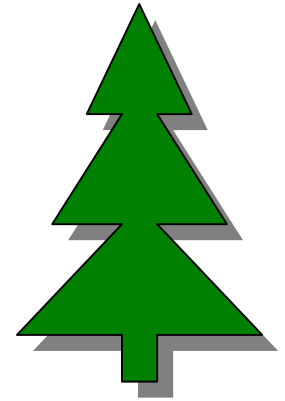
この機会にマイバッグを用意してみてもいかがでしょうか。

ヘルパーに頼むときにも忘れずに！！

また、大手スーパーなどではリサイクル品の回収をしている所も有りますので、買物に出かけられる時や、ヘルパー依頼されるときにも忘れずに頼んでみて下さい。

ご自宅のゴミも減り、エコにも参加できます。

遠慮なさらずにヘルパーに頼んでみて下さい。



訪問介護ステーション

荒木 幸子

電話 025 - 228 - 5004 FAX 025 - 228 - 4000

デイサービスセンターさかえ



デイサービスセンターさかえでは、7月14、22、30日の3日間に渡り、恒例のお買い物ツアーに行つてまいりました。3日間ともよいお天気にも恵まれ、お客様は朝からソワソワしていらっしゃいました。

今回のお買い物先は、お客様に人気のある“100円ショップ”と“ホームセンター”に致しました。

ひ孫様にお菓子やおもちゃを買い物かご一杯に買われるお客さま、お掃除道具や趣味の園芸用品などそれぞれ手にとって品定めされ購入されていました。

「何に使われるんですか？」と尋ねると、「畑仕事に必要だから」と現役ぶりを発揮されるお客様も……。店内のあちこちを見て回ったのですが、どなたにも疲れた表情は見られず、イキイキお買い物をされていました。

帰りの車内はご家族様へのお土産とお客様の笑顔でいっぱいでした。「また連れてってくれね～」と楽しみにされている方も大勢いらっしゃいました。秋にまたお買い物ツアーを企画したいと思っておりますので、多くの方のご参加をお待ちしています。

デイサービスセンターさかえ

高橋 佳美

電話 0256 - 45 - 7735 FAX 0256 - 45 - 7739

～ハーブ園を造ります！第9回～

当社デイサービスセンター横越の敷地内にハーブ園がオープンしました。日頃よりご指導頂いております、かたひがし花花工房の小野先生にハーブの魅力についてお話しして頂きます。

ブルーベリーのこと

横越のハーブ園の駐車場側に、12本のブルーベリーを植えました。

ハーブ園になにを植えようかなと考えた時、真っ先に浮かんだのがブルーベリーでした。なんでブルーベリーなの？と思われる方がいるかもしれません。まず、駐車場との境としてハーブ園の空間を確かなものにしたいため。それにもまして、ブルーベリーは成長が早く、そのうえ、1年中楽しみを与えてくれるからです。ブルーベリーは「ツツジ」の仲間です。



春には薄いピンクグリーンの新芽が出て、春の訪れを知らせてくれます。

その後、その新芽の奥にはやはりピンクグリーンのつぼみのようなものが見えてきます。ゴマ粒のようなほんとに小さなつぼみですが、ご飯粒、小豆ほど成長して、やがてスズランのような花が咲きます。

この時が大事です。肥料、水を欠かさないでいるうちに、実はぐんぐん大きくなって色づきます。実はブルームという果実を守る白い粉で覆われています。ブルーベリーが新鮮な証拠です。ブルームのかかった実を楽しめるのは、育てている人の特権です。取れたてのブルーベリーを生で楽しんで下さい。

ツツジですから、秋には紅葉が楽しめます。水遣りを十分にして新鮮なブルーベリーの実を来年はたっぷりお楽しみ下さい。

かたひがし 花花工房

小野 庸子

デイサービスセンター水原・ショートステイ水原



7月26日ボランティアで、京友会の方々より大正琴の演奏を披露していただきました。大正琴と聞いて「20年前くらいに流行っていた」「私もやっていたんだよ」と昔を思い出し懐かしんでおられるお客様もいらっしゃいました。

「海」や「ふるさと」「荒城の月」など皆様がよく知る曲で自然に合唱が始まり盛り上がっていました。又、当日はお誕生日のお客様がおられ、大正琴をバックに皆で「ハッピーバースデー」を歌うと、とても喜ばれておられました。大正琴の演奏だけでなく、踊りも披露していただき、「楽しかった」とたくさんのお客様が話して下さいました。

京友会の皆様、本当にありがとうございました。



デイサービスセンター水原・ショートステイ水原 帆苅 恵里
電話0250-62-8888(ショート)0250-62-8886(デイ)

FAX0250-62-8887(デイ・ショート共通)

デイサービスセンター柳都大橋

柳都大橋の玄関では新潟祭りの提灯がお客様をお出迎えしております。もちろん期間限定でしたが、残念ながら上の方に飾ってありますのでつい忘れがちになってしまいます。エコの時代玄関の外灯の変わりに提灯に灯を灯したりするなん



てこともおつなものですよねえ。渦巻きの蚊取り線香、うちわなどもだんだん使われなくなっていますが、ここ近年の暑さも昔に比べたら段違いで風流なんて言葉も使えないくらい暑い～～



デイサービスセンター柳都大橋

松浦 浩子

電話 025 - 228 - 5010 FAX 025 - 228 - 3335

デイサービスセンター河渡本町



河渡本町では、お客様と様々な飾りを作成しています。

七月は、夏をテーマにうちわや提灯をはじめ、いろいろな飾りを作りました。今回は、そのうちの2点を紹介します。

1つ目は、盆踊りする姉弟の絵です。絵の色塗り、上に飾った提灯作りともにお客様がしてくださいました。提灯は、色紙に切り込みを入れたり、のりづけしたり、黒い



テープを巻きつけたり・・・と、それぞれのお客様に合った作業をしていただきました。

2つ目は、花火を見る親子の絵です。夜空を貼り絵で表現し、花火は、段ボールや折り紙を切り貼りして作りました。

2点とも、「これでいいかしらね～」などとお話しながら作られた力作です。毎月様々な飾りをお客様と作成していますので、ぜひ、河渡本町を見に来てください。

デイサービスセンター河渡本町

三添 真由子

電話 025 - 250 - 3001 FAX 025 - 250 - 3010



グループホーム新津

素晴らしい集中力



ある日のお客様

何か、とても静かな状況が空気とともに伝わってきました。そこで、気になり何をしているのかとホールにでてみると「やってる！やってる！」一心不乱で取り組んでいます。

覗いてみると、何と「ぬりえ」に没頭。半端でない集中ぶりに驚いた。ころあいを見て「いっぴーく」に小休止はしたもののまた、作業に取り掛かり、その日は2時間以上は頑張っていました。ブラボーブラボー！そしてお針仕事、こんな場面はホッとするひとこまです。それにしても、この集中力に脱帽！



グループホーム新津

渡邊 やよひ

電話 0250-21-2888 FAX 0250-21-2889

デイサービスセンター城北町



資源再利用、ゴミ問題、エコ生活・・・とメディア報道などで、よく耳にします。

デイサービスセンター城北町では、以前にも作ったことがある「足台作り」に再挑戦をしました。普段、デイサービスでお過ごしになられる際、少し足を高くして過ごすとおむくみ防止や楽に過ごすことができます。使用されるお客様が多いため、新品

を作ろうとなったのです。

作るもので必要なものは、500mlの牛乳パック24個です。キレイに水洗いした牛乳パックをはさみで切り、三角柱を24個作ります。それを、セロテープやガムテープで組み合わせ、キレイに布を貼る根気のいる作業です。

いつも仲の良いH様とT様。親子ほど年齢は離れていますが、お二人で協力して作業を進めていきます。息の合った二人三脚は見事なものです。

作業をしながら、昔の懐かしいお話や、かわいいお孫さんの話にと、会話にも花が咲きます。

お二人で協力して作りあげた足台をみて、T様がひとこと。「今日は、いっぺこと仕事してよかった」(今日はいっぱい仕事できてよかった)と、満面の笑顔をみせてくださいました。

今度は、古布で「わらじ作り」に挑戦してみましようか。



デイサービスセンター城北町

伊藤 郁子

電話 0254-21-3330 FAX 0254-21-3335

伊東先生のコラム第36回



「障害は持ってみなけりゃ分からない。」

丸山診療所所長 伊東浩志

障害者は、なって初めてどういうものか分かります。

私自身が現在、障害者です。今まで、漠然と障害者の気持ちを理解していましたが、全然違いました。私の障害は非常に軽微です。しかし、日々、障害を持ち続けることの意味が強く感じられます。私は頸椎症で右手・右足が常にしびれて感覚が薄いのです。

首の後屈ができません。患者様に向かい合うとき以外は首に装具をつけています。

しかし、同様に障害を持つ人のところへ往診するときは、装具をつけたまま行きます。

「先生、どうなすったね。」そう言われるのを待っています。

実は・・・自分はあなたと同じ障害者なんだ。でも、あなたの障害から比べたら大人と子供みたいなものだ。あなたが、そうやって障害を受け入れ、そして生きていることに敬意の念を感じる。そう言うと、障害者の皆様は涙を流す。

我慢しているんだよ。受け入れていくんだよ。諦めるんだよ。。

仏陀が仏典のなかで四諦と言っているそうです。私も詳しくは無いのですが、人生の中で重要なのは四つの諦めなのだそうです。

そうだな。そう感じます。私は、この障害が辛いし、悲しいし、苦しいし。だけど元に戻らないならしょうがない。諦めるしかない。受け入れるしかない。

きっと、死もそうなんだと思います。人間の死亡率は100%

いつか必ず死ななければならない。いつか必ず諦めなければならない。

私たち医療福祉関係者は、可能な限り病気の方・障害者の方の気持ちを理解し、対峙しなければならない。先日、障害者の食器を作る会社を見学してきました。思いっきり障害者の気持ちを理解している会社でした。食器に全てに愛がありました。

その会社を見ていて感じたことは、ただひたすら誰かのために生きることのさわやかさです。その会社の社長は障害者だけではなく、環境・自然などにも深い理解を持っていました。そういう会社が多くなると悩める人は少なくなるのだろうなと感じました。

孤独な障害者は、「自分は一人ではないんだ」と感じる事ができる社会が実現するんだなと感じました。

はあもにい スペシャルライブ レポート

はあとふるあたごでは、通常の介護サービスの他に、健康支援体操やミュージックケアなど、お客様に満足して頂くための様々なサービスを提供させて頂いております。

今回、皆川京子（健康支援トレーナー）、渡辺郁男（クラリネット演奏家）、高木 寛（尺八演奏家）、永野留美子（ピアノ演奏家）、亀倉葉子（ピアノ演奏家）の、当社が誇るスペシャリスト 5 名が、期間限定のコラボユニット「はあもにい」を結成し、8 日間に渡り 11 事業所で「夏」をテーマにしたスペシャルライブを開催致しました。

スペシャルライブは、いつもの健康支援体操やミュージックケアが更にグレードアップした、盛り沢山な内容で、まさに“ That s エンターテイメント！ ” と言うにふさわしいものでした。



樽きぬたによる「新潟甚句」



高木寛による創作紙芝居「桃太郎」



亀倉葉子による「Amazing Grace」歌唱



生演奏に合わせてのエクササイズ
(左)永野留美子 (中央)渡辺郁夫 (右)皆川京子

樽きぬたと尺八による「新潟甚句」でにぎやかに始まり、「東京音頭」に合わせて、皆様元気に体を動かした後は、オカリナによる「海の歌メドレー」、尺八による「与作」を楽しんで頂きました。

その後、国会議事堂の鬼を退治する紙芝居「桃太郎」で爆笑し、魂のこもったソウルフルな熱唱に聞き惚れ、“手話”を用いたダイナミックなストレッチで身も心もリフレッシュし、クラリネットによるモーツァルトの演奏に酔いしれた皆様は、大満足のご様子でした。

今回残念ながら、ご覧頂けなかった皆様、是非とも次回のスペシャルライブをご期待下さい。

デイサービス課 石崎 徳幸

< 編集後記 >

北京オリンピック。競泳平泳ぎの北島康介選手 2 大会連続の金メダルに輝きました。前回のアテネ以降、スランプでなかなか結果が出ない時期が続き落ち込むこともあったそうですが、コーチと二人三脚で前向きに練習に励んだそうです。表彰式で流した涙にはきっと、喜びや苦しみ、4 年間の様々な思いが込められていたのでしょうね。何事も全力で取り組む姿には感動を覚えます。

～ ご意見・ご感想をお寄せ下さい。～

< 連絡先 > はあとふるあたご総務部 新潟市中央区新島町通三ノ町 2284 番地 電話 025-228-5000 FAX025-228-4000
< 編集委員 > 南洋子、中山卓、荒木幸子、富樫亜希子、岡田健、古野間信介